

授業科目

救急蘇生法演習

担当教員名 川上 心也	対象学年	4	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○		

授業の概要

応急救護は、一見難しい技術が必要に思われがちだが、そのほとんどは容易な内容で占められている。本演習では、一般市民が実施可能な様々な応急救護を学ぶ。

授業の目的

本演習では、応急救護（一次救命処置）における基本的な対処法を学習し、すみやかな処置が求められるCPR（心肺蘇生法）の効果的な実施方法と、AED（自動体外式除細動器）の使用方法について重点的に習得する。

学習目標

1. 各疾患の救急対応法を理解できる。
2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。
3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。
4. 気道の確保について理解し、実施できる。
5. 効果的なCPRを実施できる。
6. 病气やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。
7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義	川上 心也
2	救急蘇生の概要（1）	講義	川上 心也
3	救急蘇生の概要（2）	講義	川上 心也
4	救急蘇生の概要（3）	講義	川上 心也
5	救急蘇生法とは	演習	川上 心也 他
6	蘇生の連鎖と感染の予防	演習	川上 心也 他
7	気道、呼吸、循環の初期の評価	演習	川上 心也 他
8	気道の確保	演習	川上 心也 他
9	CPR（心肺蘇生法）	演習	川上 心也 他
10	病气やけがに応じた対処法	演習	川上 心也 他
11	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（1）	演習	川上 心也 他
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（2）	演習	川上 心也 他
13	CPRとAEDを用いた実践的な応急救護	演習	川上 心也 他
14	知識の確認	演習	川上 心也
15	まとめ	講義	川上 心也

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	【改訂4版】 救急蘇生法の指針2010 市民用・解説編	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（監修）	へるす出版	2011年	1,300円＋税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

実技試験および筆記試験で評価する。

履修上の留意点

演習科目という性質上、出席は重要である。また、演習は3~4名程度の班単位で実施する（班員はオリエンテーション時に連絡します）。なお、演習部分の実施日については別途連絡する。

オフィスアワー・連絡先

授業・会議等のない時間帯（メール等でのアポイントメントの後、面談時間を調整します）

E-mail : shin-ka@nuhw.ac.jp

Q棟3階 生理学実習準備室3 (Q326)